

# 環境軸ガイドライン

～ みどり豊かな都市空間のネットワーク ～



平成 19 年 (2007 年) 6 月

 東京都

## はじめに

東京は明治の欧化政策を端に、130年以上にわたり、近代化への模索と努力を行ってきました。その結果、震災や戦災という危機に直面しながらも、世界に類を見ない成長とプレゼンスを確立しました。

しかし、成長の過程で発生した様々な都市問題は、今日においても重い課題として存在し、特に成長の過程で失われたみどりの回復は今後も継続的な取組が必要です。

震災復興や戦災復興計画の中で、その後の「東京都緑の倍增計画」から「緑の東京計画」へとたゆまぬ取組が行われてきたものの、今日では、これまで以上に地球温暖化やヒートアイランド現象などへの危機感が強まっており、みどり施策においても飛躍的な成果が求められています。

今般、公表された「10年後の東京」は、過去の遺産を活かしつつ、さらなる成熟都市に向けたビジョンを示す中で、水と緑の回廊で包まれた、美しいまち東京を復活させることを目標の1つに掲げています。かつて計画された東京の緑地計画の精神は、この水と緑の回廊という概念に継承され、今、まさしく実現を可能とする新たな方策が待たれています。

これまで水とみどりのネットワークづくりは、道路、河川、公園などの整備事業においてそれぞれが取り組んできましたが、より多くみどりの連続性と広がり確保していくためには、あらゆる都市施設や自然資源、まちづくり事業を活用して推進する仕組みが必要です。

「環境軸」は、こうした点に着目し、公園・緑地、道路や河川等のみどりとこれら沿線のまちづくりで生まれるみどり等を組合せ、都市施設のみでは成しえない厚みと広がりをもったみどり空間の創造を目指すものです。

この「環境軸ガイドライン」は、東京都が平成18年4月に公表した「環境軸基本方針」を受けて、環境軸の展開に必要な配慮すべき事項などを指針として示すものです。

東京都は、歴史的な課題となっている東京の水とみどりの基本構造を構築していくうえで、環境軸が重要な役割を果たしていくものと考え、長期的かつ継続的な取組を進める中で、真に美しくみどり豊かな都市東京の実現に努力してまいります。

平成19年（2007年）6月

# 目 次

## 第1 ガイドラインの目的

---

1	ガイドラインの目的	1
---	-----------	---

## 第2 めざすべき将来像

---

1	環境軸のコンセプト	3
2	環境軸の効果	5
3	環境軸のめざすべき将来像	7

## 第3 取組方策

---

1	環境軸形成に向けた公共と民間の役割分担	
(1)	公共・民間の連携による環境軸形成の促進	8
(2)	公共の役割	8
(3)	民間の役割	9
2	都市施設整備の配慮事項	
(1)	各都市施設の配慮事項	9
(2)	都市施設の連携にあたっての配慮事項	20
3	環境軸形成に資するしくみ	
(1)	環境軸形成に資する規制・誘導の制度	25
(2)	環境軸形成に資する事業	38

## 第4 環境軸のモデル

---

1	環境軸のモデルの考え方	47
2	環境軸モデル地区の紹介	49

## 第5 今後の取組

---

1	推進体制の構築	77
2	環境軸形成に向けた新たなしくみの創設	79